

市指定文化財<史跡>

きくちかねともこうぼ
菊池兼朝公墓

指定日 昭和49年4月1日

所在地 菊池市七城町岡田



しんごくざんしょうぜんじ
神嶽山正善寺跡の西側、森の下にある。

以前は「山の上古墳」といって、正善寺境内にあった古墳と思われる。ここに無名の古塔が3基あるが、梵字のみではっきりしない。しかし、史書によるとその中の1基は兼朝の墓であると書かれている。

兼朝は弘和3年(1383)武朝の長子として生まれ、24歳で菊池氏18代を継いだ。応永26年(1419)6月南蛮軍侵入の際にはこれを撃退し、翌年には川尻城を攻め反乱を鎮圧した。

文安元年(1441)3月8日、63歳で没、法号を旭山元朝大居士、また透間道徹居士ともいう。付近には卵塔や五輪塔、宝篋印塔、その他の墓石が集積され、一族の墓所と思われる。正善寺(兼朝建立)には、釈迦如来像と兼朝の位牌及び大きな掛け軸(涅槃図)が残っている。